

副作甲

やれいねむく存る

くすしを取つれあは三十分は付だせ

じつとしていらね

ハッとはかり 獲たりなくあり ねあつて

しきり

それだ定期は来る

朝下のおめちやかくたあり

朝丸はねをたへるがいた おきて下まい

おきて下まいとふこさねる

体やしんがしやんとしての存る

その上軟べし へるがーに押しかけ存る

夕方にあると ズキしく と存る 左後足の

ハッち あま少お 頭を手足おさる

かやをひいた時、その変化はつの中つてく

身の

朝也半だと言存る

水分をとりのは一着はひと口はうりな

スッち びくはるをぬう可程度

何かしるうとしても 体がうごか存る

家の中も頭の中もわかくと存る

思いき、こくりニッラの先主にテニクをすく
その辱別作甲けありそせし

先主は頭の中ごうまてい

改定の新をみていずの

とにかく半止とあ

そいでより 河本紫郎 河本紫郎

体木彫れし

普通は普通のはつれわ

朝七時半は目大さめ

頭がズキズキ けろい

耳がかやくとヤキはのこつた

四十日間 どんく 変化しゆく自分の中

たええ系臣の死

これぞコシズキロール地はさかろう

自然はをるてい

2021
9/7